

## 著者

Glenn Woods Agilent Technologies UK Ltd. Lakeside Business Park Cheadle Royal, Cheshire, SK8 3GR UK

## 要旨

本文書では、モルト蒸留酒 (ウイスキー) の中の微量元素 測定用のメソッドについて説明します。測定には、オク タポールリアクションシステム (ORS) を搭載した Agilent 7500cx ICP-MS を用いました。7500cx は、1 つの共通メ ソッドで、発生源に関係なく干渉を除去でき、容易に分 析を行うことができます。サンプルを希釈するだけで、 優れた添加回収率 (97 ~ 107 %) が得られました。5 時間 の安定性試験結果では、ほぼすべての元素に対して優れ たくり返し精度 (2%) が得られました。このことから、飲 料中の微量金属の日常的な測定に 7500cx が有用であるこ とが示されました。

# 緒言

品質管理と規制適合の観点から、アルコール飲料中の微 量元素の測定が求められています。

含有されている金属は、水や穀物などの原材料や、加工 プロセスにおける発酵装置や蒸留装置による可能性があ ります。低品質の銅製の蒸留容器を原因とする、高濃度 のヒ素などがその一例です。微量元素は、ウイスキーの 味にも大きく影響を及ぼす可能性があるため、 最終製品 中の元素濃度を測定する必要があります。ICP-MS は多 くの元素に対して高感度と優れた検出下限を示しますが、 アルコール成分由来の干渉とサンプル前処理が必要であ ることが問題とされています。

7500cx は、1 組のセル条件 (ヘリウムモード) を用いて マトリクス起因の多原子イオン干渉を除去する、オクタ ポール反応システム (ORS) コリジョン/リアクションセ ルを搭載しています。蒸留酒の分析では、サンプルから 生じる主な干渉は炭素由来によるもの (<sup>52</sup>Cr に対する <sup>40</sup>Ar<sup>12</sup>C など)です。多くの元素は、硝酸を用いた酸性化 よりも塩化物マトリクス中ではるかに安定しています。 よって、塩酸 (HCl) をサンプルに加えました。HCl の添 加により、新たに干渉が生じますが (例: <sup>51</sup>V に対する <sup>35</sup>Cl<sup>16</sup>O、<sup>75</sup>As に対する <sup>40</sup>Ar<sup>35</sup>Cl など)、これらは、ヘリ ウムモードの ORS により除去されます。

7500cx にはオプションのセルガス配管が用意されてお り、超微量濃度のセレンの測定を可能にする、水素 (H<sub>2</sub>) モード (リアクション) が使用可能になります。ここで紹 介する測定には、希釈後で Se 40 ng/L 未満 (一部ではこ れより大幅に低い) サンプルを用いたため、H<sub>2</sub> モード (リアクション) も使用しました。

## 実験

### サンプル前処理および装置条件

スコッチウイスキー 4 種類 (Highland、Speyside、 Islay、ブレンド)、アイリッシュウイスキー 1 種類、米国 バーボン1 種類を(さらに鉛クリスタルデカンターで保管 されたスコッチウイスキーと米国バーボンも)分析しまし た。サンプルは、1% HNO<sub>3</sub> と 0.5% HCl (v/v) で 5 倍希



釈して調製しました。酸混合液を用いると、硝酸だけを 使用した場合と比較して、多くの元素、特に Hg と Sn の安定性が大幅に高まります。標準液は、1,000 ppm の 単元素原液から複合元素標準液を調製しました。サンプ ルの輸送効率と溶媒の蒸発速度を補正するために、標準 液のアルコール含有量が 8 % になるように、(40% v/v アルコールサンプルの 5 倍希釈に相当) すべての標準液 にエタノールを加えることで、サンプルの含有量と合わ せました。これにより、高濃度炭素の存在下で As と Se に対するイオン化の増進効果も補正します。Hg の安定性 をさらに高めるために、金 (400 μg/L) も標準液とサン プルに加えました。

表 1 には、分析に使用した装置条件を示します。サンプ ル取り込み速度は約 150 μL/min で、Agilent ASX-520 オートサンプラを用いました。マルチケミストリ洗浄方 法に加えて、ChemStation ソフトウェアの先行リンス 機能を用いて、溶液ポンププログラムを最適化しました [1]。7500cx は標準条件下で操作し、ペリスタルティッ クポンプにより内部標準 (Ge、Rh、Ir)を自動的に添加 しました。特別な措置は必要ありません。

#### 表 1. Agilent 7500cx 操作条件

RF 出力	1550 W
サンプリング位置	8 mm
キャリアガス流量	0.68 L/min
メークアップガス流量	0.33 L/min
スプレーチャンバー温度	15 °C
ヘリウムセルガス流量	5.5 mL/min
水素セルガス流量	4.0 mL/min

### データ採取

ヘリウム [He]、水素 [H<sub>2</sub>]、ノーガスモードでデータを 取り込みました。ヘリウムモードは 7500cx のデフォル トモードです。不活性な He セルガス条件により、反応 ガスに依存するよりも、イオンの断面積に基づき干渉を 除去します。ICP-MS のほぼすべての干渉が事実上、多 原子によるものであるため、同じ質量で単原子のアナラ イト (測定対象元素のイオン)よりも大きな断面積を持 ち、そのため、セル中でより多くの衝突が起こります。 衝突ごとにエネルギー損失を生じるため、干渉イオン種 はアナライトよりも多くのエネルギーを失い、その後、 2 つの異なるエネルギーの間の差により、マススペクト ルからフィルターをかけられます (エネルギーディスク リミネーションと呼ばれる)。アナライトと干渉の組み合わせに関係なく、この衝突過程が行われるため、すべてのアナライトに対して同一の条件を使用できます。

希釈サンプル中のセレンの濃度は低く ppt レベルである ため、セレンは水素モードで測定しました。セレンはヘ リウムモードで測定できますが、水素モードは、より高 い効率で Ar 起因の干渉を除去して検出下限を向上でき るため、低い ppt レベルのセレンの検出に最適です。い くつかの同位体については、ヘリウムモードとノーガス モードの両方で測定し、モード間の比較データを採取し ました。もちろん、日常的な分析にはこれは必要ありま せん。すべてのセルモードにおいて、同一の取り込みと サンプル経路内で行いました。

## 結果と考察

表 2 には、測定したモード毎の同位体の検出下限 (DL)、 バックグラウンド相当濃度 (BEC)、回帰係数を示します (デフォルトモードは太字で表示)。炭素と塩化物マトリ クスの干渉を受ける元素では、ノーガスモード (つまり、 従来型 ICP-MS) で測定した場合、BEC と DL が大幅に 低下します。このことはクロムのデータで顕著で、セル ガスを用いない <sup>52</sup>Cr の BEC は 526 µg/L で、ヘリウム モードでは 0.07 µg/L です。両方の Cr 同位体の BEC は非常に近い値で、干渉がバックグラウンド濃度まで効 率的に削減されたと考えられます。ヘリウムモードでは、 V、Fe、<sup>65</sup>Cu (このマトリクス中では、<sup>63</sup>Cu は干渉を受 けない) に対しても測定結果が改善されました。

図1~3には、干渉を受ける元素について、セルガス適 用/不適用の場合の検量線を示します。図4と5には Be (低質量、イオン化が困難)と Hg (高質量、存在比の低い 同位体)の検量線を示します。干渉を受ける元素の検量線 では直線が原点を通らず、オフセットをはっきりと確認 できます。Be と Hg の結果から、イオン化が困難な元素 に対する優れた感度がわかります。検出下限を下げるた めには、プラズマのイオン化効率を最大限に引き上げる ことが重要です。サンプル導入システム (低濃度溶液と低 ガス流量と大径インジェクタトーチ)とプラズマ発生器の デザイン (27.12 MHz、半導体固定周波数、高効率デジタ ル駆動)の最適化でこれを実現します。これらすべてを組 み合わせて、有効な中心軸の温度を上げて、イオン化効 率を高めます。これが低質量側のイオンの透過効率を高 めるように設計されたイオンレンズシステムと合わさり、 分析が困難な元素の DL をさらに向上します。

内部標準として Ge、Rh、Ir を使用し、オンラインで添加しました。

表3には、Islay ウイスキーの添加回収率とともに、す べてのサンプルの定量結果を示します。データは推奨の セルガスモード (通常はヘリウムモード)のものです。一 部の元素はガスモードとノーガス条件で測定を行いまし たが、データを簡素化するために、最も適切なセルモー ドだけを表示しています。例として Cr では、両方の同 位体のデータはノーガスモードでは一致せず、C と Cl ベースの干渉の強度により、ヘリウムモードで得られた データよりも大幅に高くなりました。ヘリウムモードで は、両方の Cr 同位体のデータで同様な結果を与えまし た。これによりデータの優れた精度が示されています。 鉛クリスタルデカンターで保存された2つのサンプルは、 その他のサンプルと比較して明らかに高濃度の Pb を含 有しています。非クリスタルサンプル中 Pb の平均濃度 は約 1.3 µg/L でしたが、クリスタルデカンターで保存さ れたサンプルの Pb 含有量はほぼ 10 倍でした。比較のた めに例を挙げると、イギリスでの飲料水中の Pb 最大許 容濃度は 25 µg/L (蛇口) で、今回の Pb 濃度はこのガイ ドライン内ですが、2013 年には 10 µg/L に減らされる 予定で、クリスタル中で保存された製品では飲料水品質 規格を満足できないことになります。

元素	質量	モード	r	DL	BEC	
Be	9	ノーガス	1	0.5	0.3	
V	51	He	1	26.8	12.2	
V	51	ノーガス	0.9999	495	5220	
Cr	52	Не	1	50.4	73.7	
Cr	52	ノーガス	0.985	48600	526000	
Cr	53	He	1	38.6	71.3	
Cr	53	ノーガス	0.9997	2020	52100	
Mn	55	Не	1	7.8	20.8	
Mn	55	ノーガス	1	17.5	30.4	
Fe	56	Не	0.9999	17.8	406	
Fe	56	ノーガス	1	1160	58300	
Co	59	Не	1	0.5	3.7	
Со	59	ノーガス	1	5.6	6.7	
Ni	60	Не	1	13	38.7	
Ni	60	ノーガス	1	15.2	73.6	
Cu	63	He	1	10.4	41.5	
Cu	63	ノーガス	1	16.6	59.6	
Cu	65	Не	1	18.1	36.9	
Cu	65	ノーガス	1	58.6	230	
Zn	66	Не	1	33.9	119	
Zn	66	ノーガス	1	22	171	
As	75	Не	1	2.0	3.8	
As	75	ノーガス	1	46.1	382	
Se	78	H <sub>2</sub>	1	3.6	13	
Se	78	ノーガス	1	135	1390	
Cd	111	He	1	5.7	5.3	
Cd	111	ノーガス	1	3.3	6.1	
Sn	118	ノーガス	1	7.8	50.5	
Sb	121	ノーガス	1	7.1	30.8	
Ba	137	ノーガス	1	2.8	5.3	
Hg	201	ノーガス	1	1.7	10.7	
Pb	208	ノーガス	1	2.1	10.2	
U	238	ノーガス	1	0.1	0.2	

表 2. 同位体の検出下限、バックグラウンド相当濃度、回帰係数 (ng/L [ppt]、希釈補正されています)







図 1B. クロムの検量線 [ノーガスモード] 526 µg/L の BEC



4.57 μg/L の BEC



図 3A. セレンの検量線 [H<sub>2</sub> モード] 0.013 μg/L の BEC



図 4. ベリリウムの検量線 [ノーガスモード] 0.303 µg/L の BEC



図 3B. セレンの検量線 [ノーガスモード] 1.4 μg/L の BEC



図 5. 水銀の検量線 [ノーガスモード] 0.0107 µg/L の BEC

表 3. Islay サンプルの添加回収率 (概ね優れた回収率を示す。すべての結果は希釈補正。μg/L) と推奨セルモードで得られた定量 結果

							アイリ		バーボン	ウイスキー	Islay	添加	%
サンプル			Highland	Speyside	Islay	ブレンド	ッシュ	バーボン	デカンター	デカンター	スパイク	量	回収率
Be	9	ノーガス	0.140	0.052	0.037	0.008	0.035	0.015	0.042	0.048	13.09	12.5	104.4
V	51	He	1.564	0.443	0.344	0.073	0.431	6.321	1.693	0.14	25	25	98.6
Cr	52	He	27.39	14.05	4.064	12.62	22.71	4.077	31.87	4.331	30.95	25	107.5
Cr	53	He	26.15	13.7	3.955	12.57	22.61	3.661	31.52	4.114	30.81	25	107.4
Mn	55	He	54.51	31.76	13.52	12.22	26.95	9.753	90.4	30.54	38.19	25	98.7
Fe	56	He	1125	191.2	99.76	583.8	250.5	131.4	1114	67.03	232.2	125	106.0
Со	59	He	1.097	0.376	0.180	0.130	0.336	0.172	0.323	0.368	12.83	12.5	101.2
Ni	60	He	14.02	3.586	1.442	5.065	3.078	2.274	12.88	1.992	25.91	25	97.9
Cu	63	He	542.9	370.8	454.4	258	38.45	22.2	445.5	367.6	579.8	125	100.3
Cu	65	He	525.5	359.2	441.6	251.4	37.4	21.43	430.8	355.9	568.6	125	101.6
Zn	66	He	21.02	18.54	8.414	14.18	8.149	13.69	68.27	21.9	137.5	125	103.3
As	75	He	0.503	0.427	0.272	0.256	0.164	2.192	0.434	0.424	25.72	25	101.8
Se	78	$H_2$	0.458	0.357	0.190	0.073	0.045	0.497	0.069	0.293	26.54	25	105.4
Cd	111	He	0.036	0.024	0.012	0.010	0.024	0.036	0.193	0.028	12.55	12.5	100.3
Sn	118	ノーガス	9.18	14.82	16.68	5.161	2.245	1.681	0.239	15.12	41.3	25	98.5
Sb	121	ノーガス	0.817	0.514	0.397	0.308	0.311	0.765	0.316	0.188	24.87	25	97.9
Ba	137	ノーガス	3.282	3.05	1.426	2.001	3.37	3.303	1.396	2.41	25.71	25	97.1
Hg	201	ノーガス	0.013	0.011	0.010	0.011	0.010	0.018	0.008	0.009	0.252	0.25	97.0
Pb	208	ノーガス	1.13	0.898	0.903	1.902	1.21	0.912	12.59	11.15	25.33	25	97.7
U	238	ノーガス	0.295	0.049	0.051	0.026	0.060	0.104	0.028	0.049	24.38	25	97.3

干渉を受ける同位体に対して、ヘリウムモードは明らか な利点を示します。ヘリウムは完全に不活性なガスであ るため、副反応や新たな生成物による干渉は形成されず、 干渉のない定量分析や半定量分析を可能にする全質量の 取り込みに有用です。サンプルは上記と同じ方法で調製 し(異なる日の別々の調製)、先のデータと同一のヘリウ ムセル条件で分析したサンプルの半定量データを表 4 に 示します。

クリスタルに保管されたバーボンサンプルのフルスペク トルを図 6 に示します。干渉を受ける元素に対する優れ た同位体パターンのフィッティングを実証するための、 拡大図も示します。3 つの同位体 (50、52、53) すべて がこの炭素ベースマトリクスで予想天然比と一致するた め、Cr のフィッティングは特に重要です (<sup>50</sup>Cr は、 <sup>38</sup>Ar<sup>12</sup>C、<sup>13</sup>C<sup>37</sup>Cl、<sup>36</sup>Ar<sup>14</sup>N、<sup>35</sup>Cl<sup>15</sup>Nの干渉を受けます。 <sup>52</sup>Crには、<sup>36</sup>Ar<sup>16</sup>O、<sup>40</sup>Ar<sup>12</sup>C、<sup>35</sup>Cl<sup>17</sup>O、<sup>37</sup>Cl<sup>15</sup>Nの干渉 があります。<sup>53</sup>Crには、<sup>40</sup>Ar<sup>13</sup>C、<sup>37</sup>Cl<sup>16</sup>O、<sup>35</sup>Cl<sup>18</sup>O、 <sup>35</sup>Cl<sup>17</sup>O<sup>1</sup>Hの干渉があります)。その他の干渉の可能性も ありますが、それぞれ実際は多原子イオンであるため、 同じ処理と1組のヘリウムモード条件を用いて除去され ます。

装置の安定性を実証するために (図 7)、スパイクした Highland モルトウィスキーサンプルを 54 回測定しま した。総測定時間は 5 時間 18 分でした。ほとんどの元 素に対して、結果の安定性は 2% RSD 未満で、このメ ソッドをルーチン分析に適用可能であることが示されま した。

表4.	. ヘリウムモードを用いた蒸留酒サンプルの半定量データ (特に指示のない限りデータは、μg/L [ppb]、希釈補正あり)								
		Highland	Speyside	Islay	ブレンド	アイリッシュ	バーボン	バーボン デカンター	ウイスキー デカンター
7	Li	0.24	0.2	0.049	0.084	0.16	0.16	0.34	0.26
9	Be	0.15	N/D	N/D	N/D	N/D	N/D	N/D	N/D
11	В	46	44	42	49	62	69	75	51
12	С	53,000 ppm	55,000 ppm	55,000 ppn	n 55,000 ppm	54000 ppm	76000 ppm	55,000 ppm	57,000 ppm
23	Na	1400	2100	1600	1600	1000	12000	540	2100
24	Mg	61	48	23	30	63	120	45	48
27	AI	3.9	1.8	1.8	2.3	2.4	1.9	2.5	1.6
29	SI	1300	1400	1300	1300	1300	2000	1500	1400
31	۲ د	13	9.7	0.Z	240	80 250	200	33 210	18
34 25	S CI	100 450 nnm	190 440 ppm	120 //20 nnm	240 420 ppm	200 420 nnm	320 420 ppm	210 /10 nnm	200 420 nnm
30	K	450 ppm 150	440 ppm 150	420 ppm 100	420 ppm 130	420 ppm 320	430 ppm 470	410 ppm	430 ppm 160
43	Ca	60	49	55	10	320	18	26	22
40	Ti	0.51	16	0.77	0.51	15	17	0.99	0.8
51	v	0.8	0.54	0.11	0.6	0.6	65	1.2	0.0
52	Cr	26	14	5.1	13	23	5.1	27	5.4
55	Mn	54	32	13	14	27	11	90	32
56	Fe	1200	210	100	630	260	150	1100	76
59	Со	1.1	0.47	0.16	0.18	0.36	0.24	0.4	0.4
60	Ni	13	3.5	1.8	5.7	3.4	2.4	13	2.3
63	Cu	530	380	450	260	39	22	440	380
66	Zn	22	18	9	15	8.9	14	71	25
69	Ga	0.65	0.45	0.27	0.39	0.66	0.52	0.3	0.51
75	As	0.44	0.3	0.21	0.2	0.19	2	0.4	0.42
78	Se	N/D	0.48	N/D	N/D	N/D	N/D	N/D	0.47
79	Br	160	150	140	130	120	150	150	150
85	Rb	0.9	1.4	0.92	1	2.2	8.1	6.1	1.5
88	Sr	1.3	0.84	0.22	0.36	1.4	1.7	0.57	0.78
89	Y	0.046	0.03	0.024	0.0084	0.1	0.034	0.0056	0.035
90	Zr	0.18	0.019	0.12	0.064	0.22	0.093	0.069	0.0097
93	Nb	0.0024	0.0076	0.005	0.0051	0.091	0.014	0.0077	0.005
95	Mo	0.7	0.31	0.37	0.41	0.33	1.5	0.76	0.13
101	Ru	0.01	0.02	N/D	0.021	N/D	N/D	0.01	0.02
105	Pd	0.0072	N/D	N/D	0.0075	N/D	0.025	N/D	N/D
107	Ag	0.017	0.027	0.0034	0.0035	0.014	0.0039	0.021	0.01
110	Ca	N/D 10	0.047	0.047	0.024	0.024	U.I 2.2	U.14	0.071
110	50 66	10	10	20 0.27	02	3.7 0.20	2.2	0.0	I/ 0.21
121	To	0.32 N/D	0.3	0.27	0.3	0.35	0.0 N/D	0.3 N/D	0.21
125	I	0.46	0.30	0.50	0.15	0.15	0.89	0.45	0.10
133	Cs.	0.40	0.15	0.00	0.0092	0.063	0.24	0.45	0.15
137	Ba	4.6	3.2	1.3	2.2	3.8	3.8	1.3	2.4
139	La	0.16	0.07	0.063	0.086	0.28	0.15	0.035	0.087
140	Ce	0.47	0.24	0.17	0.11	0.61	0.24	0.04	0.36
141	Pr	0.042	0.028	0.019	0.02	0.063	0.02	0.0044	0.024
146	Nd	0.21	0.12	0.045	N/D	0.3	0.14	0.022	0.14
147	Sm	0.074	N/D	0.01	0.033	0.098	0.037	0.032	0.032
153	Eu	0.0027	0.0083	0.0055	0.011	0.016	0.0063	0.0056	N/D
157	Gd	0.071	0.04	0.048	0.016	0.11	0.056	0.016	0.024
159	Tb	0.0024	0.005	0.0025	N/D	0.012	0.0029	N/D	0.0037
163	Dy	0.071	0.0096	0.024	0.029	0.083	0.028	0.0049	0.029
165	Ho	0.0045	0.0057	0.0057	0.0011	0.012	0.0013	0.0046	0.0034
166	Er	0.1	0.081	0.081	N/D	0.046	0.0075	0.0032	0.078
169	Tm	0.0059	0.003	0.004	0.001	0.0061	0.0046	0.001	0.001
172	Yb	0.055	0.013	0.0043	0.0089	0.013	0.02	0.0044	0.017
175	Lu	0.0018	0.00096	N/D	N/D	N/D	N/D	0.00097	0.00096
178	Hf	0.0096	0.0032	0.0032	0.0033	0.019	N/D	0.0066	0.0032
181	Та	0.0038	N/D	0.0019	N/D	0.021	0.0011	0.0019	0.00098
182	W	0.11	0.065	0.11	0.13	0.07	0.31	0.07	0.077
185	Ke	0.012	0.0049	0.012	0.0051	0.0025	0.0058	0.0076	N/D
189	Us	0.0049	N/D	0.01	0.0051	0.005	0.0051	0.005	0.015
195	Pt	0.021	0.026	0.0044	0.010	0.013	0.0051	0.017	0.017
202	Нg	0.057	0.019	0.029	0.029	0.059	0.022	0.039	0.058

0.041

0.009

0.073

1.3

0.039

0.93

0.027

0.094

0.038

0.0056

0.032

12

00.064

0.94

0.012

0.044

0.04

0.0079

0.023

2

0.084

0.95

0.0088

0.045

205

208

232

238

ΤI

Pb

Th

U

0.1

1.2

0.02

0.26

0.052

0.0067

10

0.05





図 6a. 鉛クリスタルで保存したバーボンサンプルのフルスキャンデータ (He モード)。「主要」ピークが示され、高強度ピークに 対するスペクトルフィッティングを示します。



図 6b. マトリクス干渉を受けている元素の拡大スペクトル。特に Cr (Ar0、ArC、Cl0 の干渉を受ける) に対して 優れたスペクトルフィッティングを示すことに注目してください

#### www.agilent.com/chem/jp





図 7. 5 時間 18 分 (54 回の反復測定) の Highland モルトサンプル (希釈補正済み) 分析結果の安定性。測定精度は、 ほぼすべての元素に対して 2% 未満でした。

## 結論

7500cx ICP-MS を用いると、シンプルな酸性化と希釈 のみで高い度数のアルコール飲料のルーチン分析が可能 になります。適切なガスモードで ORS を使用すること で、プラズマとマトリクスからの干渉を効率的に除去で き、1 つの分析条件で、検出下限が低く、信頼性の高い 測定ができます。ヘリウムモードを使用することで、干 渉のない半定量分析が可能となり、幅広い元素範囲をカ バーする迅速なスクリーニングが可能になります。

## 参考文献

1. Achieving Optimum Throughput in ICP-MS Analysis of Environmental Samples with the Agilent 7500ce ICP-MS, Agilent ICP-MS Journal 27, page 4; May 28, 2006, 5989-5132EN

### 詳細情報

アジレント製品とサービスの詳細については、アジレン トのウェブサイト www.agilent.com/chem/jp をご覧く ださい。

アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的 または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。また、本文書 掲載の機器類は薬事法に基づく登録を行っておりません。

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。 著作権法で許されている場合を除き、書面による事前の許可なく、本文書を複製、 翻案、翻訳することは禁じられています。

© Agilent Technologies, Inc. 2007

Printed in Japan August 30, 2007 5989-7214JAJP



Concentration (ppb)